

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第24号

2019年6月21日発行

編集・発行 総務委員会

令和元年、これからの学生柔道

冲永 佳史

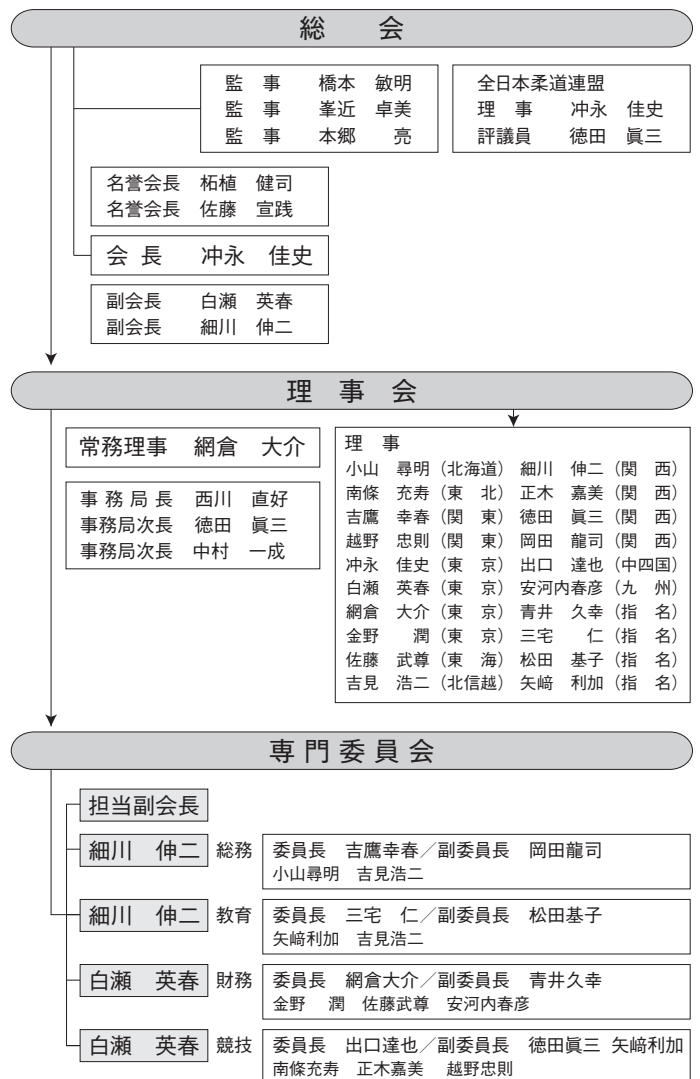
平成という時代は、昭和の高度成長の余韻を享受しつつも、バブル経済崩壊という大転換とともに右肩上がりの社会から成熟した社会に変容し、今までに前例のない少子高齢化を観察しつつ、行き先の見えない不安と対峙しながら過ぎ去っていった時代であったと言えます。このような明確な目標を打ち出しにくい状況下では、とすると必要以上に保守的な手段を選びやすいことも事実であり、停滞感をいまだに引きずっていることは否めません。

しかし、いつの時代も社会を動かすことは人の力でしかなしえませんし、その原動力たる心の持ちようは、人それぞれに託された自由度の高い権利であります。であるからこそ、世の中に停滞感が漂っているのであれば、それを払拭し新たな道を模索することもまた、人それぞれに託されているのであり、新しい令和という時代は、皆さんがそれを実行するかどうかという選択肢が目前に存在する時代と言えるであります。

全日本学生柔道連盟は近年、大会参加資格の単位制度やブルー柔道着の導入、或いは国際交流の活発化や、現代の指導理論を基にした指導者育成のための研修の強化、そしてダイバーシティー社会へ向けた課題設定を行ってまいりました。これらは、柔道の伝統を重んじながらも、次の世代へ向けた新しい取り組みを積極的に行うことが、つまるところ「精力善用自他共栄」の精神を軸としつつ、柔道がさらに発展し、少なくともこの作法を学んだ人々が、それぞれの人生を充実したものにする力を持つことに貢献するのみならず、令和という時代にふさわしく、適切に新しい「こと」を起こし、人を助け、社会に活力をもたらす人材を輩出することに繋がると考えるからであります。

そして人生100年時代を迎え、柔道界においても携わる人々の年代が広範にわたるようになりますが、年代や性別などの壁を越えて、それぞれが担うべき役割や行うべき事柄をコミュニケーション良く共有し、お互いを認め合いそして信頼し、柔道に参画する喜びを分かち合うことができれば、申し上げたような人材育成、そして柔道の発展を皆さんが目撃することになるのではないかと思います。今年度も皆さんの生活が実り多きものになることを衷心より祈念申し上げます。

一般社団法人 全日本学生柔道連盟組織図(2018-2019)



正会員数 (地区学生柔道連盟別・2019年6月21日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海
17	20	36	48	30
北信越	関西	中国四国	九州	合計
18	55	32	27	283

【北海道】

平成30年度、当連盟の加盟状況は北海道科学大学短期大学部の退会と東海大学札幌の再加盟により加盟17校、部員数290名と300名を切る状況でした。今年度も名寄市立大学から退会の申し出がありますが、北海道科学大学短期大学部から再加盟の打診があり、加盟校は17校の現状維持の状態で部員数も300名には及ばない見通しです。当連盟といったしましても何とか加盟校数、部員数を増やす方法はないか検討をさらに進めなければならない状況です。

平成28年度から実施している北海道学生柔道連盟の賛助会員制度ですが、少しずつではありますが、会員数が増えてきている状況で、今年度はさらに会員数を増やすべく努力をしたいと考えています。

今年度新たな取り組みとして男女の団体戦の試合数を増やすため、現在実施している敗者復活戦のあるトーナメント方式を、参加大学数が①5大学以下の場合は1リーグ戦で行う、②6大学から8大学の場合は2リーグ戦で予選を行い、それぞれのリーグ上位2チームの4チームによる決勝トーナメントを行い、さらに大会によっては3位決定戦を行う、③9大学以上の場合は従来通り敗者復活戦のあるトーナメント方式を行うこととなった。

当連盟では下記の5つの大会を予定しています。5月25日に全国大会の予選を兼ねて北海道学生柔道優勝大会、同じく全国大会の予選を兼ねて8月24日に北海道学生柔道体重別選手権大会、翌25日に北海道学生柔道体重別団体優勝大会、そして11月24日に北海道学生柔道新人大大会と北海道学生女子柔道階級別選手権大会です。

今年度役員改選があり、参与に筒井昇先生、副会長に安宅一夫先生、常任理事に中川純二先生を迎えた体制となります。

なお、今年度の役員（敬称略）は以下の通りです。

会 長	岩崎 満			
副 会 長	丸山 淳士	工藤 正義	安宅 一夫（新）	
理 事 長	小山 尋明			
副理事長	岩井 眞	安達 昭弘（事務局長）		
	十倉 宏			
常任理事	河合 一丸	阿部 眞久	松浦 英幸	
	森 洋一	今井 克俊	中川 純二（新）	
監 事	坂井 俊文			
事務局長	安達 昭弘			

北海道学生柔道連盟 事務局長 安達 昭弘

【東北】

1. 役員について

昨年度に大幅な役員改選を行い、今年度は任期中である。昨年は、高橋新会長、南條新理事長のもと、滞りの無い連盟運営ができたと思っている。（任期：2018/04/01～2019/03/31）



名誉会長	遠藤 純男・前会長
顧 問	佐々木武人・元会長、福島大学
会 長	高橋富士男・東北学院大学
副 会 長	佐々木安廣・富士大学
副 会 長	三戸 範之・秋田大学
副 会 長	高橋 俊哉・弘前大学
理 事 長	南條 充寿・仙台大学
副理事長	大関 貴久・東日本国際大学
副理事長	阿部 文智・東北学院大学（事務局兼務）
監 事	伊藤 周・東北大学
監 事	奥村 俊樹・青森中央学院大学
事務局長	阿部 文智・東北学院大学（副理事長兼務）
次 長	川戸 湧也・仙台大学
学生委員長	新山壮一郎・秋田大学

2. 全日本学生柔道体重別選手権大会の秋田県開催

2019年度全日本学生柔道体重別選手権大会（男子38回、女子35回）が秋田県立武道館で開催されることになり、本連盟が東京学連とともに大会主管をすることになった。東京オリンピックを控えて日本武道館の使用ができないための措置ではあるが、秋田県の柔道関係者を中心に既に準備に入っている。特に、三戸副会長（事業担当）には、実行委員長として全日本学連や東京学連との調整等、お忙しい中準備をされており感謝している。

せっかくの地元開催であるため、選手、指導者は勿論、来県される方々にとって思い出深い大会となるよう、東北学連としても三戸副会長を中心にこれからも準備を進めていきたい。

3. 今年度の主な大会

（1）東北学生柔道優勝大会

5月19日（日）宮城県武道館

（2）東北学生柔道体重別選手権大会

・東北学生体重別団体優勝大会

8月31日～9月1日 秋田県立武道館

（3）全日本学生柔道体重別選手権大会

9月28日～29日 秋田県立武道館

東北学生柔道連盟 事務局長 阿部 文智

【関東】

○2019年度に向けて

本年度は、昨年度に引き続き小俣幸嗣先生を会長とした以下の役員が構成され体制が整えられた。

会 長：小俣 幸嗣（筑波大学）
副 会 長：柏崎 克彦（国際武道大学）
木村 仁（神奈川大学）
野瀬 清喜（埼玉大学）
西田 孝宏（山梨学院大学）
理 事 長：吉鷹 幸春（桐蔭横浜大学）
副 理 事 長：中村 一成（防衛大学校）
越野 忠則（国際武道大学）
理 事：木村 昌彦（横浜国立大学）
岩崎 卓（流通経済大学）
岡田 弘隆（筑波大学）
矢崎 利加（国際武道大学）
廣川 充志（桐蔭横浜大学）
山部 伸敏（山梨学院大）
三宅 仁（平成国際大学）
小山 勝弘（山梨大学）
高橋 進（関東学園大学）
山田 利彦（了徳寺大学）
野瀬 英豪（淑徳大学）
増地 克之（筑波大学）
岡 明日香（桐蔭横浜大学）
小野 卓志（筑波大学）
監 事：石井 兼輔（国際武道大学）
市川 邦臣（城西大学）
事 務 局 長：秋山 修一（城西国際大学）
事務局次長：今井 学（新：千葉工業大学）
本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて2019年度の本連盟の主な事業計画は、5月26日（日）に関東学生柔道優勝大会（男子66回 女子25回）、8月17日（土）、18日（日）に関東学生柔道体重別選手権大会（男子58回 女子32回）の競技会の開催、年1回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。昨年度は本連盟独自の海外研修の実施ができなかった。学生にとって諸外国で柔道の稽古・試合をするということは大変貴重な経験と言える。本年度は体制を整え、海外研修を再度実現させたい。

また本年8月に開催される世界選手権には、当連盟出身の女子78kg級：濱田尚里選手（山梨学院大卒：自衛隊体育学校所属）が選出された。世界選手権での健闘を祈念する。

そしていよいよ来年に迫った東京五輪に、本連盟所属または出身選手が選出されるよう、全選手の更なる活躍を期待したい。

（文責：事務局長 秋山 修一）

【東京】

東京五輪対応スタート

東京学生柔道連盟ではオリンピックイヤー前年よりはじまる様々な諸施策対応をにらみ、昨年役員改選が行われ、白瀬英春会長が再任、併せて下記の通り執行部が決定されました。事業としては本年秋の全日本体重別選手権秋田開催に伴う東北学生柔道連盟との共同主管を進め、また事務所の一時移転による事務的な停滞がなきよう準備をしております。各加盟校との連携をより深めていくために、充実した体制を目指して参ります。

（組織運営）

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」を従来通り策定し、自主財源ベースの運営を目標におきます。

（財務状況）

現在、安定財源確保のために、佐藤前々会長提唱され高木前会長、白瀬会長に引き継がれた「Come Back 柔道連盟サポーター（賛助会員）」は毎年多くのご加入を頂き、連盟事業にも会員の皆様に多数来場いただき実をあげております。さらにホスピタリティーを向上させていきたいと考えております。

（教育普及）

これまで成果を挙げて参りました海外研修事業を引き続き計画してまいります。国際人の育成を連盟全体に波及させていく事も含めて、充実させていきます。

また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しております、「柔道出前講座」も実施予定です。さらに社会貢献・奉仕の心を養うために、例年通り全国視覚障害者柔道大会の運営協力も行う予定です。

本年度も学生役員を中心にした運営を心がけ、新事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

役員（任期は規約により2年）

会 長 白瀬 英春・東海大学
副 会 長 大八木 諭・中央大学
石原研二郎・東京大学
森脇 保彦・国士舘大学
鈴木 良則・法政大学
金野 潤・日本大学
網倉 大介・日本大学
名 誉 顧 問 佐藤 宣践・東海大学

学生役員より

理 事 長	網倉 大介・日本大学
副 理 事 長	西川 直好・法政大学
	廣瀬 伸良・順天堂大学
	青井 久幸・中央大学
監 事	橋本 敏明・東海大学
	藤根 崇雄・専修大学
	池田 悦雄・法政大学
事 務 局 長	甲斐 隆文・日本大学
総務事業委員長	瀧本 大成・慶應義塾大学
総務事業副委員長	穴井さやか・帝京大学
	渡辺 崇・日本体育大学
財 務 委 員 長	青井 久幸・中央大学
財務副委員長	大原 友里・立教大学
普 及 委 員 長	佐藤伸一郎・拓殖大学
普及副委員長	高橋 歩・専修大学
	佐藤 愛子・東京女子体育大学
学生統括委員長	細田 明・日本体育大学

東京学生柔道連盟 理事長 網倉 大介

私たち東京学生柔道連盟は、4年生4名、3年生4名、2年生2名、1年生1名の計11名の学生が大学の代表であるという自覚を持ち、学業との両立を図りながら、日々活動を行っております。

今年度は元号の改定があり「平成」から「令和」へとなりそれに伴い当連盟でも大会名だけでなく様々な変更点がありました。しかしながら私たちのやるべきことはこれまでと変わらずスムーズな大会運営を行いこれからの学生柔道の発展に尽力していくことであります。

昨今、各メディアにおいて柔道のみならず、スポーツ界の全体のあり方が取り沙汰されていますが、そのような中で柔道マインドの精神を忘れず日々稽古に励んでいる選手が大会という舞台で日ごろの鍛錬の成果を遺憾なく発揮できる環境づくりができるよう、また、2020年の東京オリンピックに向けて、学生柔道から柔道界、スポーツ界を盛り上げていけるよう、学生委員一丸となって精一杯準備を進めていきます。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 奥園 正隆

【東海】

東海学生柔道連盟は、竹内外夫会長を中心に、佐藤武尊理事長、久野高裕および三宅恵介副理事長の体制によって、組織体制の改革や大会の運営方法の見直し、新たな事業展開などを見据えて、東海地区における学生柔道の活性化を目指した改善を進めております。若手役員が多い組織ではありますが、東海学生柔道連盟の更なる発展と活発な組織の持続性を意識して、引き続き尽力して参ります。

昨年度は、全日本学生柔道体重別選手権大会の男子60kg級において皇學館大学の学生が、女子57kg級において中京大学の学生がベスト8に進出しました。また、全日本学生柔道体重別団体優勝大会では、男子は皇學館大学、女子は中京大学がベスト16に進出するなど、近年では最も好成績を収めることができました。このような成績を収めることができたのは、東海地区内の各大学が切磋琢磨した成果だと考えます。今年度は、全日本柔道連盟強化選手の誕生を望みます。

柔道修行究極の目的である「己の完成」と「世の補益」の実現に向けて、東海学生柔道連盟主催による合同練習や海外研修、講習会などを企画・運営し、東海地区の学生柔道が一枚岩となって力を付けていけるよう、東海学生柔道連盟運営陣共々、尽力して参ります。

1. 役員

会 長	竹内 外夫（中京大学名誉教授）
顧 問	長谷川 優（中京大学名誉教授）
顧 問	金子 修己（中部大学名誉教授）
顧 問	関 厳（名城大学名誉教授）
理 事 長	佐藤 武尊（皇學館大学准教授）
副 理 事 長	久野 高裕（愛知大学職員）
副 理 事 長	三宅 恵介（中京大学講師）
事 務 局 長	福井 博泰（名城大学職員）
事務局次長	細木 勁吾（同朋大学職員）
監 事	竹内 昭夫（竹内会計）
監 事	柴田 光徳（元愛知学院大学職員）
学生委員長	安田 悠人（皇學館大学）
学生副委員長	木下 翔太（皇學館大学）
学生副委員長	合田 謙斗（中京大学）

2. 行事予定

5月19日（日）於：愛知県武道館

第66回 東海学生柔道夏季優勝大会

第26回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月25日（日）於：愛知県武道館

第38回 東海学生柔道体重別選手権大会

第36回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

12月9日（日）於：中京大学豊田キャンパス

第67回 東海学生柔道冬季優勝大会

第12回 東海学生女子柔道冬季優勝大会

3. 昨年度大会結果（団体優勝校）

第65回 東海学生柔道夏季優勝大会

一部 皇學館大学 二部 米田柔整専門学校

第25回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

5人制 中京大学 3人制 皇學館大学

4. 学生委員長（安田 悠人）の抱負

今年度、学生委員長を拝命いたしました、皇學館大学4年生の安田悠人と申します。昨年度、東海学生柔道体重別選手権大会にて、前学生委員長のもとで、大会運営の手伝いをさせていただき、学生が大会運営にしっかりと関わっていることに気づきました。これは、前学生委員長の、「学生が主体的に大会運営を行いたい」という意志のもと、運営をしていたからだと思います。そのため、前学生委員長をはじめとする、これまで大会運営をしていただいていた、学生の方々が作り上げてきた「学生が主体的に大会運営を行う」という意志を引き継ぎ、また、これまで以上に主体的に大会運営を行えるよう、二名の学生副委員長と共に頑張っていきたいと思っています。

これから、学生委員長として、学生の代表という自覚を持ち、精一杯頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

東海学生柔道連盟・理事長 佐藤 武尊

【北信越】

北信越学生柔道連盟の基本方針として、柔道を通じた教育を徹底できるように、『北信越学生柔道連盟加盟校の心得』のもと、尊敬の心・感謝の心・謙虚な心・勤勉な心・補益の心という具体的な目標を掲げています。大会時の服装・身だしなみ・応援等についても規範を設け、学生の指導・育成を実践し、「人間形成の道」としての柔道の普及発展を模索しています。

昨年度行われた第15回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会では、全国から多くの先生方のご協力を頂き、500名を超える選手の出場となりました。この場をお借りし、関係者の皆様にお礼を申し上げます。本大会では新たな試みとして、男子個人戦で減点法を試験導入しました。より多くの試合経験を積むことに加え、選手自身が状況に応じた戦術を立てるという構図により、自ら考える力を養う点にもねらいがあります。相乗効果として、アグレッシブな試合展開が生まれ、テクニカルスコアによる決着が増加したことも大きな成果であると考えています。また、これまで実施してきた「チャレンジシステム」も定着し、今年度はさらに工夫を重ね、選手にとって有益となるような大会を運営できるように臨みます。

昨年度は大会運営に加え、海外研修事業（ミャンマー）も実施しました。3名の役員引率のもと、11名の学生が12日間の研修に参加し、ミャンマー柔道ナショナルチームとの合同練習や異文化交流を行いました。引率者や参加学生の後談からも本研修が健全な国際感覚の形成に繋がったことを確信しています。今後もこのような海外研修を通して、日本と世界の架け橋となるような学生の育成に努めたいと思います。

【本年度事業予定】

5月19日 北信越学生柔道優勝大会(男子68回 女子28回)

8月31日 北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会
(男子38回 女子31回)

9月1日 第21回北信越学生柔道体重別団体優勝大会

11月16～17日 第16回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会

※詳細連絡先

金沢学院大学内 北信越学生柔道連盟事務局

TEL 076-229-8930 mail: naotake@kanazawa-gu.ac.jp

男子担当: 渡辺 直勇 金沢学院大学 076-229-8843

鈴木 貴士 金沢工業大学 076-248-9926

女子担当: 吉見 浩二 高岡法科大学 0766-63-3388

渡辺 涼子 金沢学院大学 076-229-8867

北信越学生柔道連盟 理事長 吉見 浩二

【関西】

1. 大会予定

1) 2019年度関西学生柔道連盟主催大会予定

関西学生柔道優勝大会 (男子69回 女子27回)

5月26日 (日)

ベイコム総合体育館 [尼崎市記念公園]

関西学生柔道体重別選手権大会 (男子38回 女子31回)

8月11日 (日)

シダーアリーナ (五條市上野公園総合体育館)

2) 2019年度関西学生柔道連盟主管大会予定

全日本学生柔道体重別団体優勝大会 (男子21回 女子11回)

10月19日 (土)・20日 (日)

ベイコム総合体育館 [尼崎市記念公園]

2. 本年度の抱負

嘉納治五郎師範が提唱された「精力善用」「自他共栄」の教えをもとに本連盟の運営にあたるとき、その取り組みが「柔道をとおして皆の幸せにつながる」結果を得られることが大切であると思っております。本連盟が主催または主管する上記大会や諸活動等において、参加する選手や監督、そして観戦する観客も含め、皆が「素晴らしい」という感情が自然とわきおこるような大会等を目指し、その実現に努力していきたいと考えております。

具体的には、選手が試合に臨みやすい環境の整備や他者を気遣うマナーのよい大会等の実現を目指していきたいと考えております。また、その実現に向けた過程や結果が「MIND」の精神につながると信じております。

しかし、その実現には多くの方々の理解と協力が不可欠です。本連盟では、これまで連盟の役員や学生役員に限らず、多くの本連盟加盟大学の指導者や学生が、本連盟の各取り組みに積極的にかかわり、運営をささえました。

今年度もこうした他者のために労を惜しまない姿勢をもって本連盟が一致団結して円滑な大会運営や関係諸活動等に取り組んでいきたいと思っております。そして、柔道のすばらしさが多くの方々に理解され、柔道のより一層の発展につなげたいという思いをむねに一層の努力を重ねていきたいと考えております。本年度もよろしくお願い致します。

3. 連盟役員の紹介

会 長 近藤 徹

副 会 長 細川 伸二、正木 嘉美、峯近 卓美

理 事 長 正木 嘉美

学生役員

幹 事 長 馬場 達也

副幹事長 南 信次

常任幹事 三浦そのこ、梶谷 壮太、石名田侑希、

細川 健太、辻岡 佑太、篠原 大輝、

福井 健太、佐藤 拓見

以上

【中国四国】

中国四国学生柔道連盟は、2月17日に常任理事会を開催し、2019年度の行事等を承認しました。

当連盟では、国際交流事業として2018年12月にシンガポール選手団（指導者3名、中学生2名、高校生6名）を広島県で受け入れ、連盟の大学生を始め、県内の高校生、中学生との交流を行いました。

引き続き、加盟校32大学が一丸となって、魅力ある連盟と発展していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（平成31年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定）

4月6日（土）中国四国学生柔道連盟 定例幹事会
（岡山商科大学）

5月25日（土）～26日（日）
中国四国学生柔道連盟 理事会・総会
中国四国学生柔道優勝大会
中国四国学生女子柔道優勝大会
（岡山県立武道館）

7月6日（土）中国四国学生柔道連盟 定例幹事会
（広島国際大学）

8月24日（土）～25日（日）
中国四国学生柔道体重別選手権大会
中国四国学生女子柔道体重別選手権大会
中国四国学生柔道体重別団体優勝大会
（広島市東区スポーツセンター）

2月下旬 中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁



シンガポール選手団、広島国際大学、広島大学、地域の中学生との合同練習



シンガポール選手団、連盟の大学生、県内の中高生との合同練習

【九州】

2018年度定例総会を5月25日に開催し、議題は（事業報告、収支決算、行事予定、収支予算）全て承認いただき可決決定いたしました。

2019年度 男子第68回・女子第28回九州学生柔道優勝大会を5月25・26日に福岡武道館にて男子一部8校、二部11校（220名）女子五人制2校、三人制8校（60名）が参加して実施。

結果、男子一部 優勝 鹿屋体育大学（二年連続9回目）準優勝 福岡大学、三位 熊本学園大学・日本文理大学、五位 福岡教育大学、以上五校全国大会出場。

男子二部、優勝 九州産業大学（初優勝）準優勝 佐賀大学、両校ともに翌日の入れ替え戦に臨んだが一部昇格には至らず。

女子五人制、優勝 福岡大学（2年連続12回目）準優勝 鹿屋体育大学、

三人制、優勝福岡工業大学（2年連続7回目）準優勝 別府大学、三位 九州共立大学、四位 福岡教育大学、以上6校全国大会出場。

九州地区代表として選手の健闘を祈る。

2019年度九州地区役員

会 長	藤田 弘明
副 会 長	筑紫 仁、園田 勇、中原 一
理 事 長	安河内春彦
副理事長	小澤 雄二、清水 克巳
事務局長	野田 修

2019年度行事

5月25日（土） 2018年度定例総会

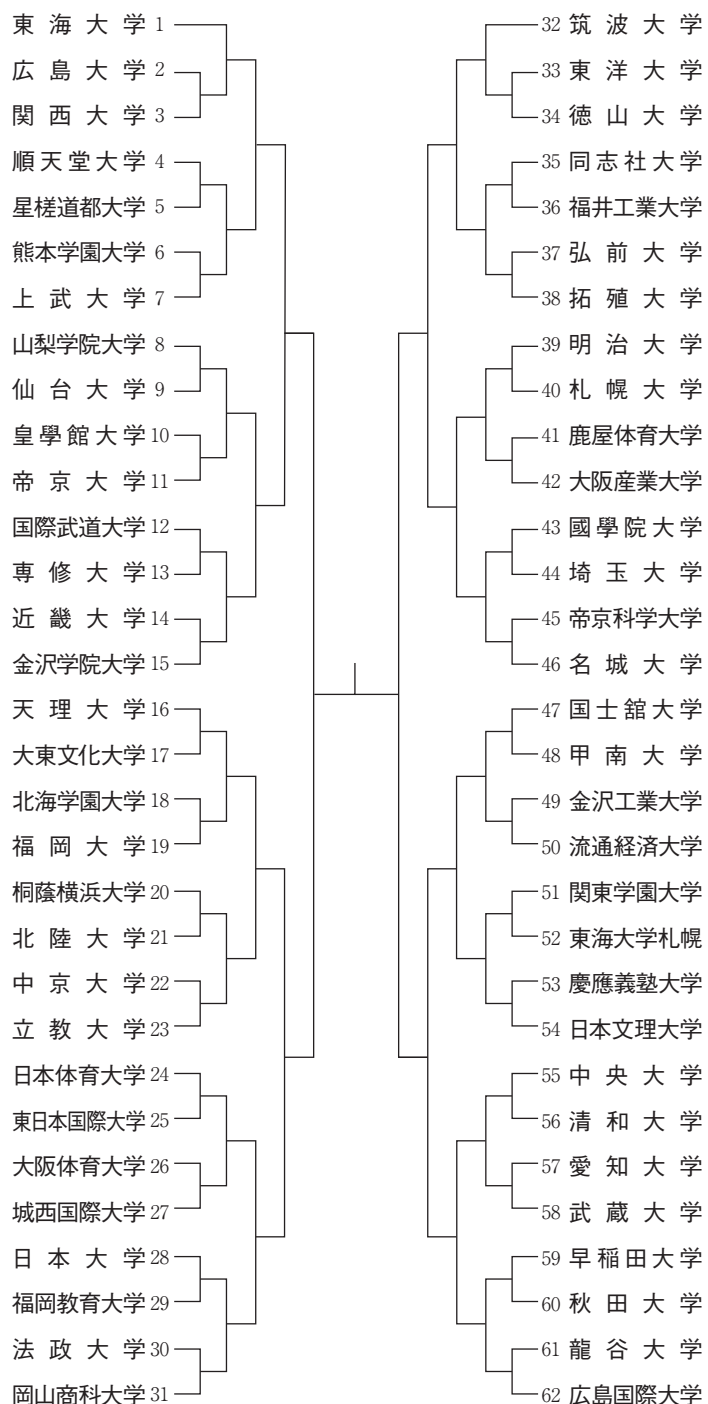
5月25日・26日 男子68回・女子28回九州学生柔道優勝大会

8月31日・9月1日 第63回九州学生柔道体重別選手権大会

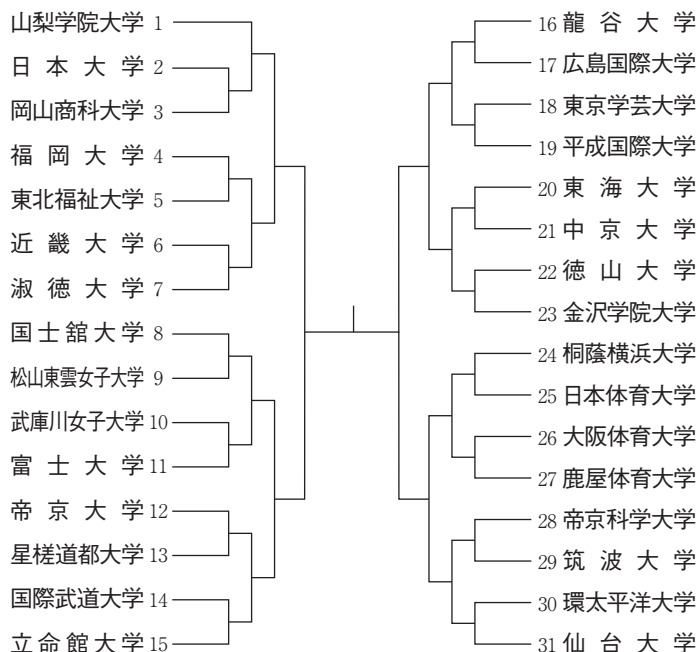
2019年度全日本学生柔道優勝大会(男子68回 女子28回)

— 6月22・23日 開催 於:日本武道館 —

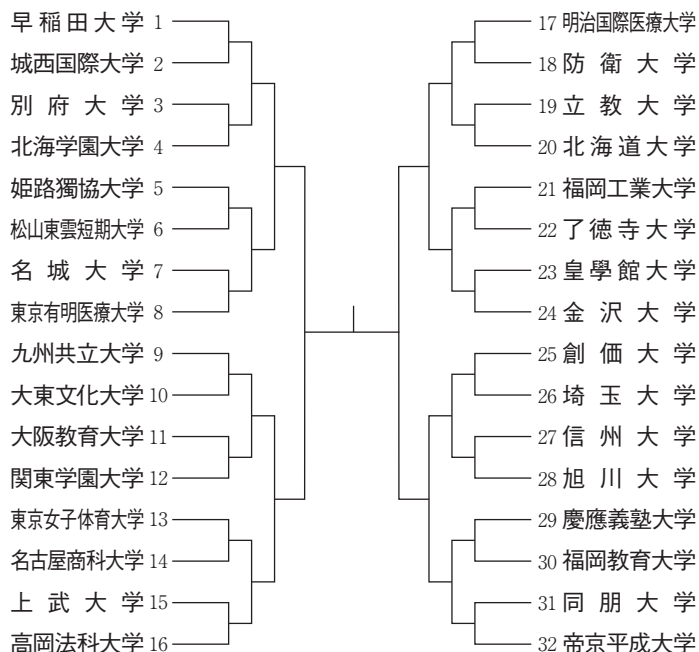
男子団体対戦表



女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail: gakujuren@gakujuren.or.jp URL: <http://www.gakujuren.or.jp>